令和７年度　天王寺区運営方針

（区長 ：末村 祐子）

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	・みんなの「思い」が区政に反映されているまち ・子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち ・だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち ・歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち ・つながり合い、支え合い、助け合うまち
使命	・より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開する。 ・持続可能な財政運営を図るために、選択と集中を進め、子どもたちの健やかな成長と教育に必要なサポート、支援を要する人への福祉の強化を図るとともに、災害対策への予算の重点配分を行う。
令和７年度 所属運営の 基本的な 考え方	①区内人口の約半数が子ども・子育て世代であり、また区民の教育意識も高く、多くの学校園が集積していることから、これら地域特性を活かした子育て・教育施策に取り組み、安心して子育てができる環境づくりを進め、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまちをめざす。 ②区内65歳以上高齢者の４割が独居世帯であり、急病時や災害時の孤立化などが懸念されることから、これまでの地域の見守り活動とも連携を図りながら見守りを推進するとともに、交流機会の充実を図る。また、健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、区民自らが自身の健康に関心を持ち、各種健診や運動に対する意識の向上が図られるよう、健康増進に向けた取組を展開する。 ③各地域において近年のマンション建設に伴う新旧住民の交流や若手世代への地域活動の広がりや、身近な地域のコミュニティづくりはまだ十分ではないことから、地域一体となった地域課題の解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」運営支援に取り組む。また、上町断層帯地震等が発生すると大きな被害を受けると想定されることから、区民一人ひとりの「防災力」の強化による自助力の向上を図るとともに、数多いマンションに特化した防災対策の強化や、地域・協力企業などとの連携による共助力の強化に取り組み、地域の力を結集して「防災力」の向上に取り組む。また、特定空家等の発生を未然に防ぐための対策について周知、啓発を行うほか、街頭犯罪認知件数が依然として多いことから、防犯対策の強化にも取り組む。 ④地域の方々に魅力発信につながる取組を展開していただけるよう活動しやすい体制づくりに継続して取り組むとともに、天王寺の豊富な歴史的・文化的資産を活かし、地域の取組と連携することで、まちのにぎわいと活力の創出に取り組む。

重点的に取り組む経営課題

経営課題１　子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり

５決算額	46百万円	６決算額	44百万円	７予算額	53百万円

課題認識	・不安や悩みを抱えるこども・子育て世帯が増え続け、その内容も複雑多様であることが課題となっていることから、専門知識をもった職員による相談体制を維持する必要がある。 ・不登校などの行動は、発達障がいなどのこどもの要因や家庭内の関係性の要因が複合的に重なり合って表れたこどもからのＳＯＳである。それらの要因を改善・解消するため、こどもとその保護者自身に対して、より効果的な支援策に取り組む必要がある。 ・子育て世代の転入者が増加していることから、引き続き、保育所誘致等の待機児童対策に取り組む必要がある。 ・また、学力面においては、学力の二極化が懸念され、学力に課題がある子ども、また精神面で不安を抱える子どもは多いことから、支援が必要な子どもに対する、学習面だけではなく精神面も含めた、よりきめ細かな支援が課題となっている。 ・外国からの編入児童・生徒等が急増している中、日本語の習得が十分でなく、学校園等における対応が難しい場面が生じている。 ・子どもが通塾や習い事などで多忙であり、社会体験活動へ参加する機会が少なくなっている。
主な戦略 （課題解決の方策）	・専門知識を持った職員による各種相談体制や子育て支援施設･サービスの情報提供 ・潜在的な虐待の可能性の発見と予防の強化及び虐待事案へのより速やかな対応 ・発達が気になる子どもと保護者対象の学習や交流の場の提供、発達障がいに対する理解促進 ・不登校児童及びその保護者を対象とした家庭訪問による相談支援 ・多様なライフスタイルで子育てできる保育サービス等の充実 ・小学生を対象とした海外の文化への理解を深める取組 ・学力や精神面で課題を抱える子どもに対する支援と、基礎学力の向上、学習習慣の定着を図る取組 ・外国人児童等へのコミュニケーション支援を図る取組 ・天王寺区ジュニアクラブを通じて地域活動に取り組む区民などと協働した、子どものころから様々な経験を積む社会教育機会の提供
アウトカム指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	・ペアレント・トレーニング、運動サポート事業、就学前の学習会の参加者が役立ったと感じた割合　70%以上 ・天王寺区ジュニアクラブ活動において活動の趣旨が理解できた参加者の割合　70%以上

アウトカム指標の達成状況（定量評価）	７年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績
	ペアレント・トレーニング、運動サポート事業、就学前の学習会の参加者が役立ったと感じた割合　100%	A	84%
	天王寺区ジュニアクラブ活動において活動の趣旨が理解できた参加者の割合　95%	A	92%

経営課題２　気にかける・つながる・支えあう地域福祉

５決算額	21百万円	６決算額	22百万円	７予算額	22百万円

課題認識	・要援護者や独居高齢者等のうち名簿の地域への提供について、同意を得られた方の割合は、24.7%（令和5年度末）と全体の半分以下の水準となっており、当該事業への理解と周知・啓発の推進、同意を得られる方の増加を図る取組が課題となっている。 ・複合的な課題を抱えた世帯の増加や地域コミュニティの希薄化が進む中、地域の高齢者、障がい者等の孤立化を防ぐ取組が必要である。 ・また、要介護認定者数は増加〔令和5年度3,965人（５年間で約7%増）〕している。 ・がん検診の受診率はほぼ横ばいであり、市平均を下回る種別〔胃がん：令和5年度1.8%（大阪市2.1%）、大腸がん：令和5年度3.5%（大阪市 3.9%）、肺がん：令和5年度3.0%（大阪市3.4%）〕がある。 ・こうしたことから、継続した健康保持増進の取組の強化についても課題となっている。
主な戦略 （課題解決の方策）	・見守りが必要な独居高齢者等の生活や体調の異変を早急に察知して対応する見守り体制の構築 ・避難行動要支援者名簿のうち、同意の得られた要援護者に対する地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えの強化 ・「地域福祉コーディネーター」の配置により、福祉の情報提供や相談対応を行う場を地域に作ることで、高齢者、障がい者等の孤立を防ぐ取組の強化 ・高齢者を中心とする地域の通いの場の拡大に向けた支援の実施 ・健康保持増進の取組を行うきっかけ（がん検診の受診勧奨など）の提供
アウトカム指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	・要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の地域への提供について同意を得られた方の割合→令和８年度までに50%【重点目標】（令和５年度：24.7%） ・がん検診の受診率が前年度を上回る（令和５年度：胃がん1.8%、大腸がん3.5%、肺がん3.0%、子宮頸がん12.7%、乳がん8.3%）

アウトカム指標の達成状況（定量評価）	７年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績
	要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の地域への提供について同意を得られた方の割合　42.9%	B	23.8%
	胃がん1.8%、大腸がん3.2%、肺がん2.4%、子宮頸がん12.6%、乳がん9.1%	B	胃がん2.1%、大腸がん3.2%、肺がん2.7%、子宮頸がん12.9%、乳がん8.7%

経営課題３　大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組

５決算額	39百万円	６決算額	45百万円	７予算額	43百万円

課題認識	【地域社会づくり】 ・地域でのつながりや地域活動に関しては、近年のマンション建設の増加に伴う新しい住民や若手世代への広がりが課題となっており、また地域活動協議会の自律運営に向けた事務処理や活動の担い手の育成・確保なども十分とはいえない状況。 【防災】 ・「自助」の取組に関しては、一人でも多くの区民の皆さんに災害に関する知識を身につけ、必要な対策をとっていただけるよう「防災力」の向上に向けた啓発が課題。また、マンションなど災害に強い建築物に居住している区民に向けては、感染症防止対策の観点も踏まえ、在宅避難の働きかけとそのノウハウの周知も重要。 ・「共助」の取組に関しては、過去の災害で多くの高齢者や障がい者が犠牲となったことから、災害時に支援が必要な方々の個別避難計画の作成を進めるとともに、地域における自主防災組織の育成支援を行うことなどにより、「防災力」の向上を図っていくことが課題。 ・また、「公助」の取組に関しては、地域防災リーダー（災害救助青年部）や地域の自主防災組織を担う方々と連携し、定期的に防災訓練を行い、住民相互の助け合いにつながる取組を継続的に行っていく必要がある。 ・台風や地震などの災害時に被害を拡大する恐れがある特定空家等の増加を抑制し、是正する必要がある。 【防犯】 ・防犯については、子ども犯罪被害は毎年発生し、放置自転車台数も下げ止まりとなっており、引き続き子どもの安全安心の確保、だれもが安全で安心して通行できる道路の確保に向けた取組が必要となっている。
主な戦略 （課題解決の方策）	・広報紙を活用し、身近な地域における「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」の大切さを伝え人と人とのつながりづくりを促進 ・近所に住む人同士が集まり福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながっていることの大切さを感じてもらえるよう防災訓練などの機会を捉えた啓発 ・まちづくりセンターと連携し、地活協のめざすべき姿に向けて地域の実情に即したきめ細かな支援を行い仕組みの定着を図ることでより多くの住民参加による自律的な地域運営を実現 ・被災しても自宅または避難所で安心して生活できる環境および住民相互の支援体制の整備 ・マンション住民をはじめ区民に向けた減災のための取組強化 ・空家等の適切な維持管理や権利関係の整理の重要性、区役所の空家対策の取組について周知、啓発 ・防犯カメラや青色防犯パトロール車による巡回などの取組 ・区民との協働および関係局との連携による区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数削減
アウトカム指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	・現役世代の地域活動への参加が増えたとする地域活動協議会の数が毎年増加（令和５年度　５地域） ・地域が行う避難所開設運営訓練の実施　４地域以上 ・特定空家等について、増加を抑制（令和３年３月末現在の５件を維持）し、解体や補修等による是正件数３件以上

アウトカム指標の達成状況（定量評価）	７年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績
	現役世代の地域活動への参加が増えたとする地域活動協議会の数　7地域	A	6地域
	地域が行う避難所開設運営訓練の実施　６地域	A	５地域
	特定空家等　８件　是正件数　１件	B	特定空家等 7件　是正件数　1件

経営課題４　歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化

５決算額	2百万円	６決算額	5百万円	７予算額	10百万円

課題認識	・歴史的・文化的資産を活かしたこれまでの取り組みに加え、新たな視点からも天王寺区の魅力を掘り下げ、発信していく必要がある。 ・令和7年は、2025年大阪・関西万博が開催されると同時に天王寺区制100周年を迎えることから、両者を効果的にPRすることが重要。
主な戦略 （課題解決の方策）	・てんのうじ観光ボランティアガイド協議会と連携した講演会やまち歩きなどによる歴史的・文化的資産の発信に加え、万博を契機とした、新たな視点から区の魅力を発信する講演会の開催により、区の魅力発信を強化 ・区内に多くある学校園と連携してにぎわいづくりや地域活性化を促進 ・2025年大阪･関西万博への啓発・参画を通じた来場促進および、区民、事業者の参加･参画によるPR等の実施により、天王寺区制100周年の機運の盛り上げを図る
アウトカム指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	・てんのうじ観光ボランティアガイド協議会と連携した講演会やまち歩きなどに参加して満足と感じた人の割合　90%以上 ・今後も吹奏楽フェスティバルの開催を希望する参加者の割合　90%以上

アウトカム指標の達成状況（定量評価）	７年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績
	てんのうじ観光ボランティアガイド協議会と連携した講演会やまち歩きなどに参加して満足と感じた人の割合　99%	A	96%
	今後も吹奏楽フェスティバルの開催を希望する参加者の割合　89%	B	94%

自己評価 （運営方針全体の定性評価）	（経営課題１について） ・複雑多様化する子育て世帯における不安や悩みに対し、各種情報の提供とともに専門知識を持つ職員による各種相談機会等を提供しているが、内容・案件数ともに、現在の課題解決の方法の継続した実施が必要である。 ・不登校児童については、当該児童と保護者を対象とした家庭訪問による相談支援を行っているが、引き続き取り組みが必要な状況であり、区の子育て支援の周知を積極的に行うとともに、支援が必要な子ども・保護者を関係機関につなげる取り組みも継続する必要がある。 ・区政会議にて、外国につながる児童生徒の急増を受け、児童生徒が共に学べる環境整備に向けた抜本的対策を求める意見が出された。区では独自の外国語サポーター派遣を継続しているが、多様化・複雑化する教育ニーズへの迅速な対応は依然として喫緊の課題である。 ・天王寺区ジュニアクラブ活動において、計５回の職業体験や清掃活動など社会体験活動の機会提供に取り組んだ結果、令和7年度の会員登録者132名のうち各回で18～41名、延べ148名の会員の参加があり、目標達成に繋がった。 また、次世代育成の取組として、「天王寺みらいプロジェクト（区役所×中学生プロジェクト）」を推進し、「ごみのポイ捨て防止ポスターコンクール」の企画を実施。中学生が主体的に区政に参画する機会を創出したことで生徒の自己肯定感や地域への誇りと愛着の醸成に寄与した。 （経営課題２について） ・要援護者や独居高齢者等に対して、名簿の地域への提供についての同意確認に努めているが、目標を下回っている状況にあり、区政会議においても、さらなる周知が課題であるとの意見が出ている。 また、令和５年度より新たに地域福祉コーディネーターを配置し、福祉の情報提供や相談対応等を行う場を地域に作ることで見守り体制の強化に努めているが、複合的な課題を抱えた世帯の増加や福祉コミュニティの希薄化が進む中、地域の高齢者、障がい者の孤立化を防ぐ取組のさらなる推進、及び周知が必要である。 ・がん検診の受診率向上に向けて、広報紙での周知やイベントでのチラシ配付、SNSでの発信等を実施した。また、地域の食事サービスで大腸がん検診の説明・申込受付を一括して行う取組みを２地域において試行実施した。その結果、一定の効果があったものの、胃がん・肺がん・子宮頸がんの検診受診率は前年度をわずかに下回ったため、引き続き、がん検診の受診に向けた周知及び啓発が必要である。 （経営課題３について） ・身近な地域でのつながりについて、区政会議においても「つながりが希薄になりつつある」という認識とともに、「なお一層の地域の活動周知の必要性がある」という意見を得た。区内各地域が様々な行事を通して地域とのつながりを感じる機会の提供を増やす努力をしているが、幅広い世代への地域活動の広がりが十分ではなく、引き続き区民の地域活動への関心や関与を高めるための支援が必要である。 ・区民の災害への備え(自助)や地域の防災対応力(共助)の向上をめざして、学習会や出前講座の開催をはじめ、地域イベントなど様々な機会をとらえて啓発を進めるとともに、地域防災リーダー（災害救助青年部）や地域の自主防災組織を担う方々と連携して、地域の防災訓練等の実施を支援したことで、目標達成に繋がった。引き続き、「防災力」の向上を図っていく必要がある。 （経営課題４について） ・大阪・関西万博では、国際交流プログラムへの参加及び「大阪ウィーク」における舞台発表など、多くの方に区の魅力を発信することができた。 ・区制100周年関連事業として、「天王寺みらいプロジェクト」では、中学生と連携した「ももてんちゃん100周年バージョン」の活用や「もりあげ隊」による事業を推進し、多世代が地域の魅力にあらためて気づく機会を創出した。 ・今後も吹奏楽フェスティバルの開催を希望する参加者の割合は89%となり、目標値をわずかに下回った。

今後の方針	（経営課題１について） ・区の子育て支援・学習支援等の取組みについてSNS等も積極的に活用し周知を行うとともに、こどもサポートネットなどの取組を通じて支援を要する子ども・保護者を着実に支援につなげる。 ・専門相談員等による情報提供と相談はもとより、発達が気になる子どもと保護者対象の学習や交流の場の提供、不登校児童への家庭訪問、外国人児童等へのコミュニケーション支援等、子育てに特に不安がある家庭への支援を充実させる。 ・急増する外国につながる児童生徒及び保護者の対応については、区長会議等を通じた他区との広域連携を深め、教育委員会が導入した「AI翻訳システム」と人的支援の相乗効果を区としても適宜検証していくとともに、引き続き教育委員会と緊密に連携しながら学校現場の負担軽減と支援の質の向上に取り組んでいく。 ・「天王寺みらいプロジェクト」及び「天王寺区ジュニアクラブ」を通じて、未来を担う次世代が、自律した社会の一員として主体的に活動できる機会を継続的に提供する。 （経営課題２について） ・高齢者等見守り支援事業についての認知度、及び同意を得られる方の増加を図るため、委託事業者（区社協）に設置している見守り相談室と連携し、今後も積極的かつ効果的に周知・広報活動を行うとともに、同意をされない理由を把握・分析を行い、取組手法を検討していく。また、より効率的な事業推進に向けて、各地域の課題整理を行う。 ・がん検診の受診率向上に向けて、所管局の受診率向上の取組みの時期にあわせてSNSによる広報を実施するほか、様々な広報媒体を活用して区民の皆さんに読んでみよう、受診しようと思ってもらえる訴求力のある広報に努める。また、令和７年度に試行実施した大腸がん検診の説明・申込受付を一括して行う取組みについて、地域を拡大して実施する。 （経営課題３について） ・引き続き、広報紙やSNSなど様々な手法を活用して地域活動の情報を発信する。とりわけ、地域全体で取り組むことでより効果が高まる防災・防犯は、誰にとっても身近なテーマであり、地域とのつながりの重要性が伝わりやすい。これらにより、地域における人と人とのつながりづくりを促進する。 ・当区では、上町断層帯地震等が発生すると、大きな被害を受けると想定されることから、“命を守る”自助、共助力の向上は喫緊の課題である。 区内の多くを占めるマンションに特化した防災対策「マンション防災」の推進や、区民一人ひとりの自助力の向上のための啓発、地域における自主防災組織の育成支援や企業等が保有する資源の地域での活用などの地域･協力企業などとの連携による共助力の強化に引き続き取り組み、地域の力を結集した「防災力」の向上を図る。 また、災害時に支援が必要な方々の個別避難計画の作成や防災訓練等の機会を通じて緊急時に助け合える“地域のつながりづくり”に取り組むなど共助を促進する。 （経営課題４について） てんのうじ観光ボランティアガイド協議会をはじめとした地域団体や学校園との連携を深め、歴史と文化・居住地としての魅力など、様々な側面からまちの魅力を広く発信する。 また、区制100周年事業から生まれた「ももてんちゃん100周年バージョン」を継続活用するとともに、SNS等の活用及びイベント等での対面による情報提供を組み合わせた「伝わる広報」を強化していく。